

言吾石开イ更リ

大東文化大学 語学教育研究所広報 (2018.9)

研究発表会のお知らせ

2018 年度第二回研究発表会を下記のように開催いたします。

ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：平成 30 年 10 月 15 日（月） 午前 11 時 00 分～

場所：大東文化大学板橋校舎 2 号館 6 階 語学教育研究所

①発表者： 齋藤 俊輔 先生（外国語学部英語学科）

題 目： 群馬県大泉町における住民の多国籍化とまちづくり

—大泉町観光協会の活動と役割

内 容： 群馬県大泉町は外国人人口が 18 パーセントを超える外国人集住都市である。そのうち、10 パーセントはブラジル国籍住民で、町内には彼らの経営する商店や会社などが多くみられる。このため、大泉町はこれまでブラジルタウンとして観光地化を図ってきた。観光地化を担ったのは、大泉町観光協会と呼ばれる組織である。ところが、近年外国人住民の多国籍が進み、とくにネパール国籍やペルー国籍住民の活動が目立って行われるようになってきた。こうした状況を踏まえ、今年度から同協会はブラジルタウンからさまざまな国籍の住民を取り込んだ観光イベントを行うようになってきている。本発表ではこうしたブラジル以外の外国籍住民を巻き込んだ観光協会の活動とその役割について考えてみたい。

②発表者： 吉田 慶子 先生（外国語学部中国語学科）

題 目： 中国語の「衙門」から「法院」の変遷

内 容： 本発表は、中国語の「衙門」、「法院」の語源調査を通じて、中国の近代概念の移入、受容過程を示すことに重点をおく。事例を通して、西洋新概念の移入と社会状況の変化は語彙の形成にどのように影響を与えるのかを示し、中国法律用語の近代化の特徴を考察する。

主催：語学教育研究所